経済建設常任委員会

9月15日、21日に陳情4件を審査し、所管の予算審査・事後調査・3カ所の現地調査を行った。

町営特定賃貸住宅

問 住宅の空家は。

答 主に若い夫婦を対象としている住宅で、現在、中山1戸、名和3戸、合計4戸の空家がある。

再度募集をかけるが、「月20万円の所得（収入ではない）と、同居人がいること」この制限に満たない人が多く、入居できない。制限は条例で決まっているが、入居規則の緩和を検討していく。

もったいない空屋がある

除雪

問 除雪業務の方法はどの様にしているか。

答 除雪業務のやり方は、旧大山は借り上げと業者委託、名和は、一部直営と業者委託、中山は、賃金という形で組んでいた。県土整備局の単価表示を参考にして、町で統一した方法で検討していく。

完成検査は

問 下水工事の道路修復などの完成検査は、どの様にしているのか。

答 現場で担当課長と監督員（町から1人、業者が1～2人）が町独自の方法で行っている。

ソフトクリームが食べられる。

問 索道会計の18万2千円の補正予算は。

答 「町営中の原スキーセンター」に設置する、ソフトクリームサーバーのリース料。人気の「大山まきばみるくの里」と同じソフトクリームを提供したい。

石綿管の取り替え

問 開拓専用水道の補正予算691万円は。

答 石綿管取り替え工事で、距離は一〇〇m。落差があるため、減圧の調整槽をつけるなどの工事をする。

企業誘致

問 商工費の2150万円の補正予算は。

答 阿弥陀川の河川敷を県から払い下げを受け、ファミリー株式会社に売る。面積は3・5ヘクタール。

（陳情審査）

大山レンタル組合から出された「大山における迷惑な営業についての陳情」は、大山寺にとどまらず町全体のいろいろな迷惑事業も含んで防止を図る方向で検討する方向がよいとの理由で、趣旨採択とした。

工場の南側を拡張するファミリー（株）